

受付番号

25

許可番号

大歯医倫 第 110992 号

研究課題名

顎変形症術後の機能訓練は機能改善に寄与するか

研究責任者

中嶋 正博

申請者

関 理泓

研究終了日

2022 年 3 月 31 日

所 属

口腔外科学第二講座

所 属

歯学研究科

口腔外科学専攻

職 名

主任教授

職 名

大学院 1 年生

申請の概要

顎変形症患者が有する咀嚼咬合機能障害は歯科矯正治療だけでは改善が困難なことが多いため、近年、外科的矯正治療が多く行われている。本研究では、外科的矯正治療が必要と診断された骨格性下顎前突症患者に対して、外科的矯正治療の前後で歯列咬合および顎顔面形態の変化が顎口腔機能へどのような影響を及ぼしているか検討し、患者に術後よりガム咀嚼訓練を実施することで顎口腔機能がどのように改善するか研究することを目的とする。本研究により顎変形症患者が外科的矯正治療後にガム咀嚼訓練を行うことで咀嚼咬合機能がより向上することを、根拠をもって示すことができれば、歯科・口腔外科領域における咀嚼咬合治療にとって有用な治療の選択肢となり得るものと期待される。